

平成28年3月期 第3四半期決算概要

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第3四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.12.31)	前年同四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.12.31)	増減	
			金額	率
売上高	23,496	26,826	△ 3,330	-12.4%
営業利益	468	1,233	△ 765	-62.0%
金融収支	△ 33	159	△ 192	※1
その他営業外	86	217	△ 131	※2
持分法損益	22	46	△ 24	※3
経常利益	543	1,655	△ 1,112	-67.2%
特別損益	35	△ 97	132	※4
税引前利益	578	1,558	△ 980	-62.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	366	1,102	△ 736	-66.8%
1株当たり四半期純利益	3円48銭	10円49銭		

※1 金融収支の主な内訳

	H27/12	H26/12	差
受取配当金	22	221	△ 199

※2 その他の営業外差異主な内訳

	H27/12	H26/12	差
受取保険金	—	66	△ 66
為替差損益	△ 1	23	△ 24
受取賃貸料・雇用支援助成金他	98	121	△ 23
貯蔵品等売却益	2	15	△ 13
※3 小名浜海陸運送	22	46	△ 24

※4 特別損益主な内訳

	当第3四半期	前年同四半期
投資有価証券売却益	143	—
固定資産処分損	(注1) △ 108	(注2) △ 47
減損損失	—	(注3) △ 50
計	35	△ 97

(注1) 小名浜工場混酸・希硝酸・濃硝酸製造設備撤去費

(注2) 賃貸用資産撤去費

(注3) 賃貸用資産

①セグメント別売上高(連結)

		当第3四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.12.31)	前年同四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.12.31)	増減
報告セグメント	無機化学品	11,694	12,832	△ 1,138
	機能化学品・化成品	8,262	9,412	△ 1,150
	エンジニアリング	2,466	3,479	△ 1,013
	貨物運送・荷役	869	831	38
その他	82	147	△ 65	
調整額	123	125	△ 2	
計	23,496	26,826	△ 3,330	

合成石英粉は半導体関連分野が堅調に推移したことから増収となるも、アノード系製品の主要顧客向け販売減少、硝酸系製造黒崎工場集約に伴う小名浜工場硝酸系製造停止等により、対前年同期比減収

糊マリン・木材加工用接着剤は合板メーカーの減産による需要減少、TAIC®(ゴム、プラスチック架橋助剤)・紫外線硬化性樹脂は主要顧客向け販売の減少等により、全般的に堅調であった前年同期に比べ減収

熾烈な受注競争の中、前年同期に比べ受注案件が大きく落ち込んだこと等により、対前年同期比大幅減収

新規案件の獲得等により、対前年同期比微増

有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により、対前年同期比減収

上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益(連結)

		当第3四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.12.31)	前年同四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.12.31)	増減
報告セグメント	無機化学品	359	689	△ 330
	機能化学品・化成品	103	425	△ 322
	エンジニアリング	△ 80	121	△ 201
	貨物運送・荷役	52	44	8
その他	17	27	△ 10	
調整額	17	△ 73	90	
計	468	1,233	△ 765	

合成石英粉は堅調に推移したものの、アノード系製品の主要顧客向け販売減少等により、対前年同期比大幅減収

合板メーカーの減産に伴う糊マリン・木材加工用接着剤の需要減少、TAIC®(ゴム、プラスチック架橋助剤)の競争環境激化、紫外線硬化性樹脂の主要顧客向け販売の減少等から、全般的に堅調であった前年同期に比べ大幅減収

熾烈な受注競争の中、前年同期に比べ受注案件が大きく落ち込んだこと等により、対前年同期比大幅減収

新規案件の獲得及び燃料価格下落等により、対前年同期比増益

有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により、対前年同期比減収

原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示(含みらいプロジェクト開発費用 H27第3Q △72 H26第3Q △119)

2. 連結比較貸借対照表

	当第3四半期 連結会計期間末 (H27.12.31)	前連結会計 年度末 (H27.3.31)	増減		当第3四半期 連結会計期間末 (H27.12.31)	前連結会計 年度末 (H27.3.31)	増減
現預金	1,500	1,411	89	有利子負債	9,834	9,309	525
売上債権	9,133	10,623	△ 1,490	仕入債務	5,157	5,437	△ 280
たな卸資産	5,172	4,468	704	その他負債 ※2	5,947	7,331	△ 1,384
固定資産(有形・無形)	11,229	10,618	611	株主資本	12,857	12,912	△ 55
投融資等	5,673	5,786	△ 113	その他の包括利益累計額	△ 53	4	△ 57
その他資産 ※1	1,035	2,087	△ 1,052				
資産合計	33,742	34,993	△ 1,251	負債・純資産合計	33,742	34,993	△ 1,251

(注) 自己資本=純資産-非支配株主持分

D/Eレオ=有利子負債/自己資本

自己資本 12,804 12,916 △ 112

自己資本比率 37.9% 36.9% 1.0%

有利子負債 9,834 9,309 525

D/Eレオ 0.77 0.72 0.05

※1 増減内訳: 短期貸付金 △1,000 等

※2 増減内訳: 前受金 △382、未払費用 △375、未払消費税 △276、賞与引当金等 △351

3. 連結キャッシュ・フロー

	当第3四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.12.31)		(参考) 前年同四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.12.31)
営業活動によるCF	111	税前利益578、減価償却費656、売上債権の減少額 1,490、その他の流動負債の減少額 △1,048 たな卸資産の増加額 △704、法人税等の支払額 △373、仕入債務の減少 △280 等	△269
投資活動によるCF	△126	設備投資 △1,270、短期貸付金の減少額等 1,144	△81
フリーキャッシュ・フロー	△15		△350
財務活動によるCF	105	借入金による収入 525、配当金の支払等 △420	585
現金及び現金同等物に 係る換算額	△1		10
現金及び現金同等物の 増減	89		245

4. 連結通期業績予想

(平成27年10月23日発表)

	28年3月期 通期	27年3月期 実績	増減	
			金額	率
売上高	34,500	37,294	△2,794	-7.5%
営業利益	950	1,774	△824	-46.4%
経常利益	1,250	2,651	△1,401	-52.8%
特別損益	△200	△294	94	
税引前利益	1,050	2,357	△1,307	-55.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	700	1,281	△581	-45.4%
1株当たり当期純利益	6円66銭	12円19銭		
1株当たり配当金(期末のみ)	4円	4円		

①セグメント別売上高

		28年3月期 通期	27年3月期 実績	増減	
報告 セグメント	無機化学品	16,700	17,172	△472	合成石英粉は堅調なるも、アモニア系製品の主要顧客向け販売の更なる減少、硝酸系製造黒崎工場集約に伴う小名浜工場硝酸系製造停止等により減収
	機能化学品・化成品	11,600	12,375	△775	合板メーカー減産強化による糊マリン・木材加工用接着剤の更なる需要減少、TAIC®(ゴム、プラスチック架橋助剤)の競争環境激化、紫外線硬化性樹脂の主要顧客向け販売の急減等により減収
	エンジニアリング	4,800	6,283	△1,483	受注競争の更なる激化等により大幅減収
	貨物運送・荷役	1,100	1,106	△6	主要顧客向け運送量の減少を新規案件の獲得等により補い前年同期並み
その他		120	192	△72	有機溶剤等の蒸留・精製業について主要顧客向け販売の減少等により減収
調整額		180	166	14	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示
計		34,500	37,294	△2,794	

②セグメント別営業利益

		28年3月期 通期	27年3月期 実績	増減	
報告 セグメント	無機化学品	420	858	△438	合成石英粉は堅調なるも、アモニア系製品の主要顧客向け販売の更なる減少、前期一時的利益押し上げ要因の解消等により減益
	機能化学品・化成品	300	560	△260	合板メーカー減産強化による糊マリン・木材加工用接着剤の更なる需要減少、TAIC®(ゴム、プラスチック架橋助剤)の競争環境激化、紫外線硬化性樹脂の主要顧客向け販売の急減等により減益
	エンジニアリング	90	371	△281	受注競争の更なる激化等により減益
	貨物運送・荷役	50	57	△7	主要顧客向け運送量の減少を新規案件の獲得等により補い前年同期並み
その他		20	11	9	有機溶剤等の蒸留・精製業について原燃料価格下落等によるコスト減により微増
調整額		70	△83	153	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示
計		950	1,774	△824	